

大企業におけるリスキリングに関する調査報告書

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>

目次

調査概要 P.3

サマリ

- | | | |
|-----------------------|-------|------------|
| 1. 企業におけるリスクリングの実施概要 | | P.4 |
| 2. リスクリングの詳細と達成目標 | | P.5 |
| 3. リスクリングの効果と課題・今後の展望 | | P.6 |

調査結果

- | | | |
|-----------------------|-------|-------------|
| 1. 企業におけるリスクリングの実施状況 | | P.7 |
| 2. 企業がリスクリングを通して目指すもの | | P.15 |
| 3. リスクリングによる効果 | | P.17 |
| 4. リスクリングの課題と今後の取り組み | | P.20 |

調査目的	企業におけるリスクリングの実施状況や実施背景、成果を確認するとともに、今後の取り組みにおける課題を探る
調査手法	アンケート専門サイトを用いたWebアンケート調査
調査期間	2023年1月23日～24日
調査対象者	企業・団体の人事部 教育研修担当者 ※社員研修を実施している企業・団体に研修を担当している人 ※従業員規模：従業員500名以上／業種は以下 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;">製造、建設、金融・保険、情報通信、卸売・小売、サービス、医療・福祉、教育・学習支援、その他</div>
有効回答数	100名
実施主体	eラーニング戦略研究所

✓ **企業におけるリスキリング実施率は58%。**

従業員数500名以上の大企業の約10社に6社がリスキリングに取り組んでいる。

✓ **業種別では「建設」「教育・学習支援」「情報通信」「製造」が実施率、導入意欲ともに高い傾向。**

✓ **81%の企業が「2020年以降」にリスキリングを開始。**

22.4%(2020年)→27.6%(2021年)→31%(2022年)と**右肩上がりに増加中。**

✓ **企業はおもに「次世代リーダー人材」「DX人材」育成のため**

リスキリングを実施している。

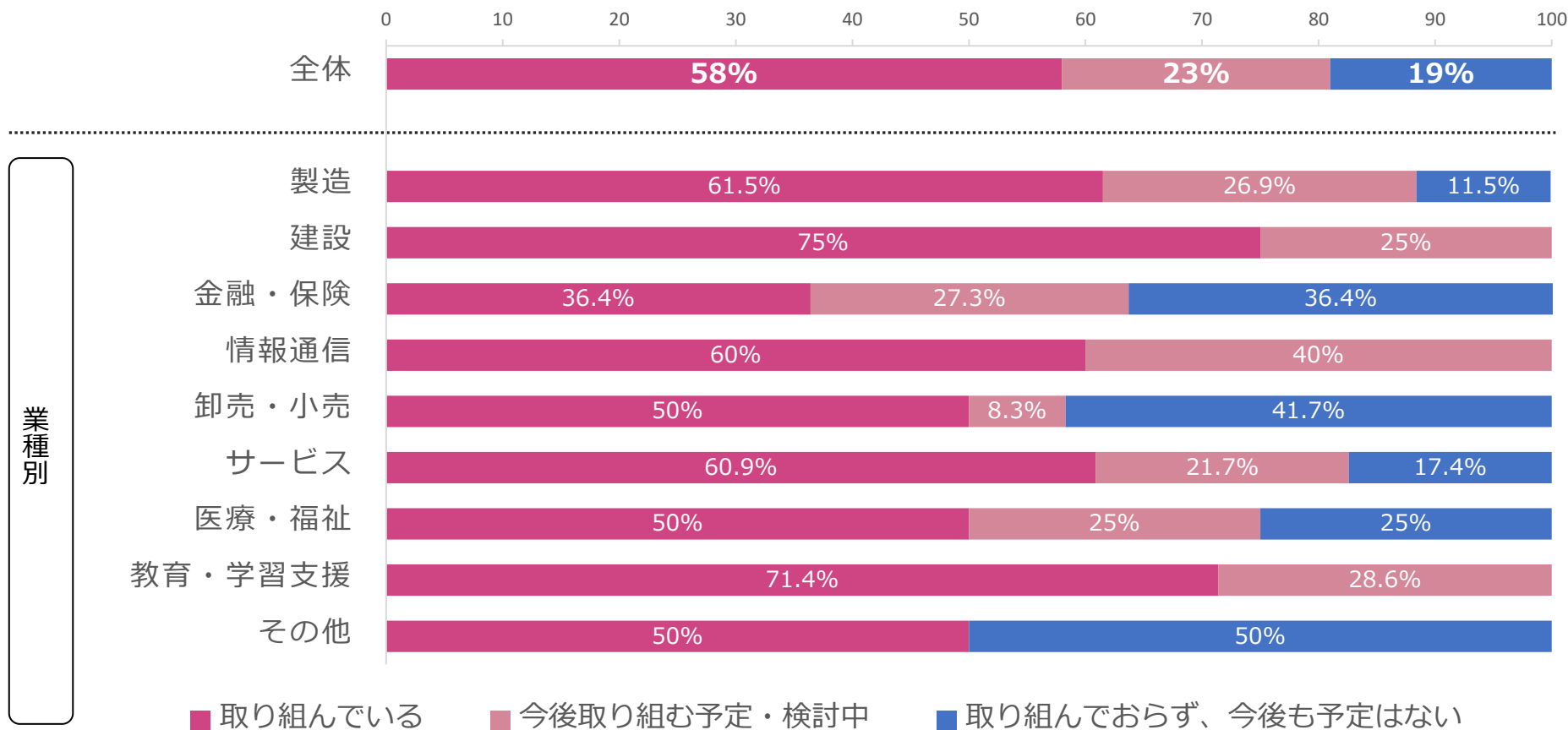
- ✓ **全社員を対象にしたリスキリング**が主流。
- ✓ 内容は「情報セキュリティ」「IT基礎スキル」「データ分析」「マーケティング」「AI」「プログラミング」「データサイエンス」「IOT」など多岐にわたる。
- ✓ **74.2%がオンライン研修（eラーニング）を活用してリスキリングを実施。**
- ✓ リスキリングを通して達成したいことトップ3は「**生産性向上**」「**中長期的な企業価値向上**」「**社員のモチベーション向上**」。

- ✓ **84.5%の企業が「リスキリングに効果があった」と回答。**
- ✓ おもな効果は「**社員の意欲向上・意識改革**」「**社員のスキルアップ**」。それが業務効率化や生産性向上、働き方改革につながっている点が評価されている。
- ✓ 課題は「**教育カリキュラムの選定**」「**既存スキルの見える化と習得スキルの決定**」「**スキルを活用する環境作り**」など。
- ✓ **87%の企業が「リスキリングは必要」と回答。**
リスキリング実施中の企業はもちろん、リスキリングを実施しておらず今後も予定のない企業でも約半数が「必要」と答えていることなどから、課題はあるものの、今後もリスキリング導入が進むことが予想される。

アンケート調査結果

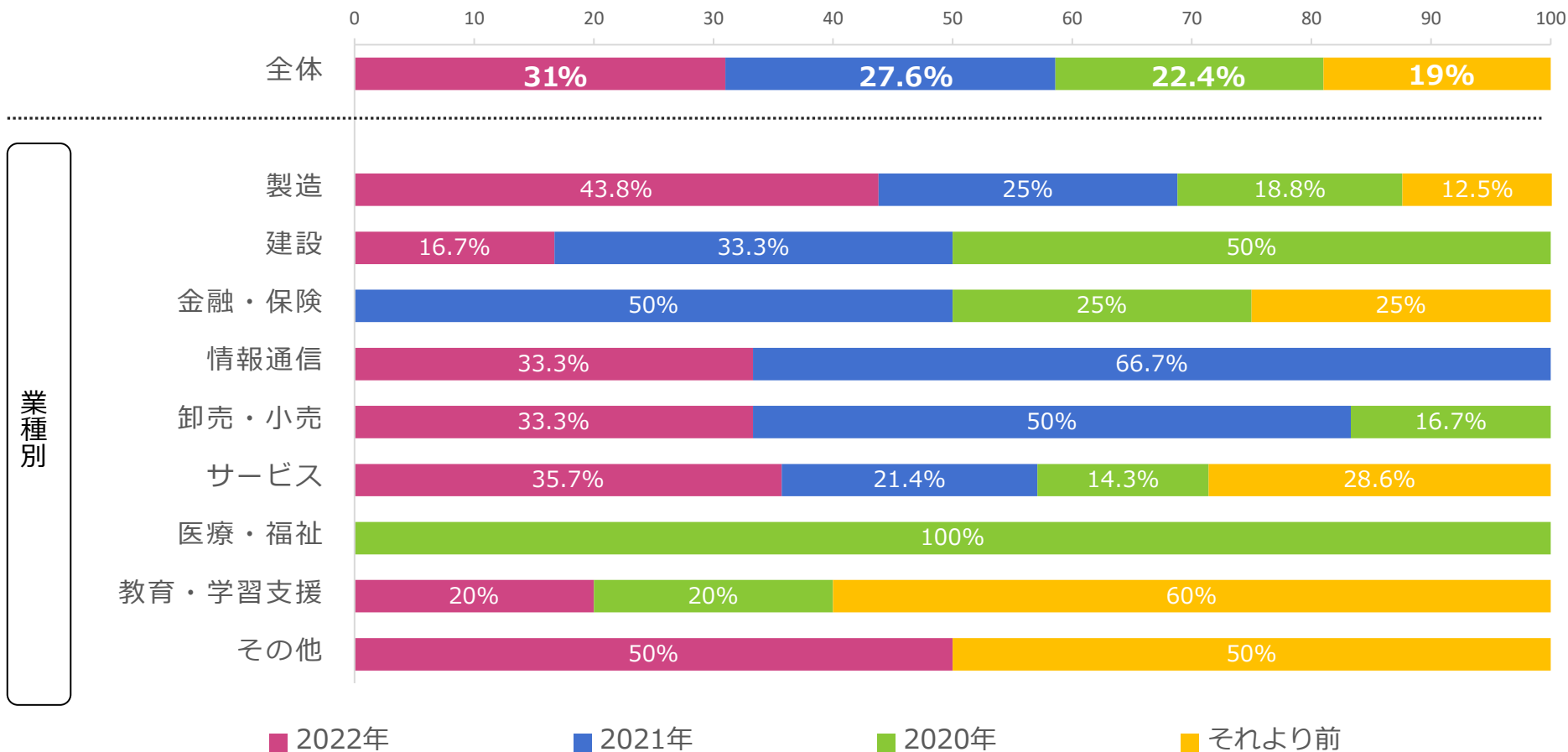
1. 企業におけるリスクリングの実施状況

58%の企業がリスクリングを実施中。
業種別では「建設」「教育・学習支援」「製造」の導入率が高い。



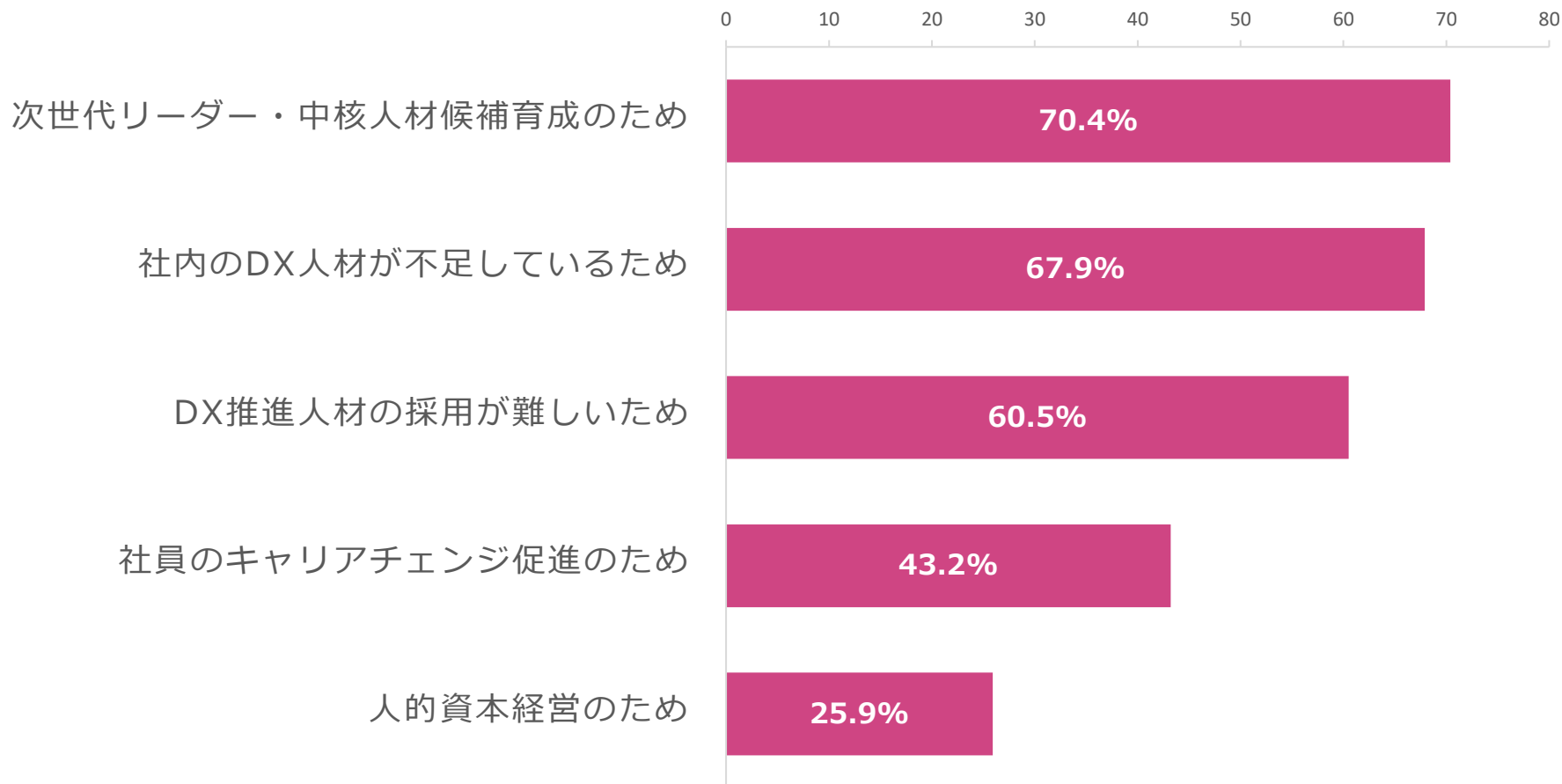
Q: あなたの会社では「リスクリング」に取り組んでいますか？ (n=100)

81%の企業が「2020年以降」にリスキングを開始。
 22.4%（2020年）→27.6%（2021年）→31%（2022年）と右肩上がりに増えている。



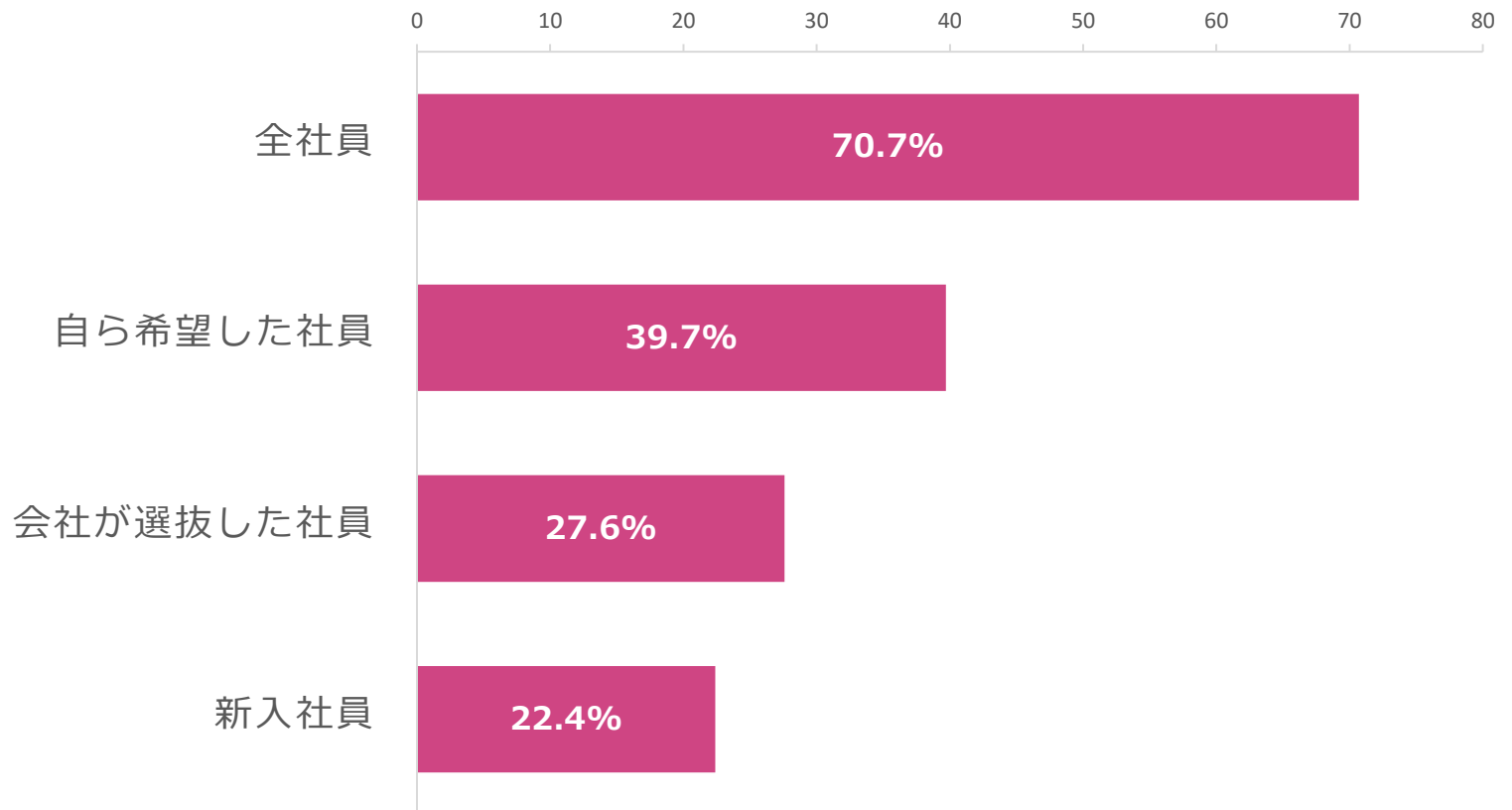
Q：あなたの会社でリスキングの取り組みを始めたのはいつ頃ですか。（n=58）

リスキリング実施の最大の動機は「次世代リーダー人材育成のため」。
「DX人材不足」も顕著。



Q：リスキリングに取り組もうと思った理由/検討している理由は何ですか？当てはまるものをすべてお答えください。（n=81）

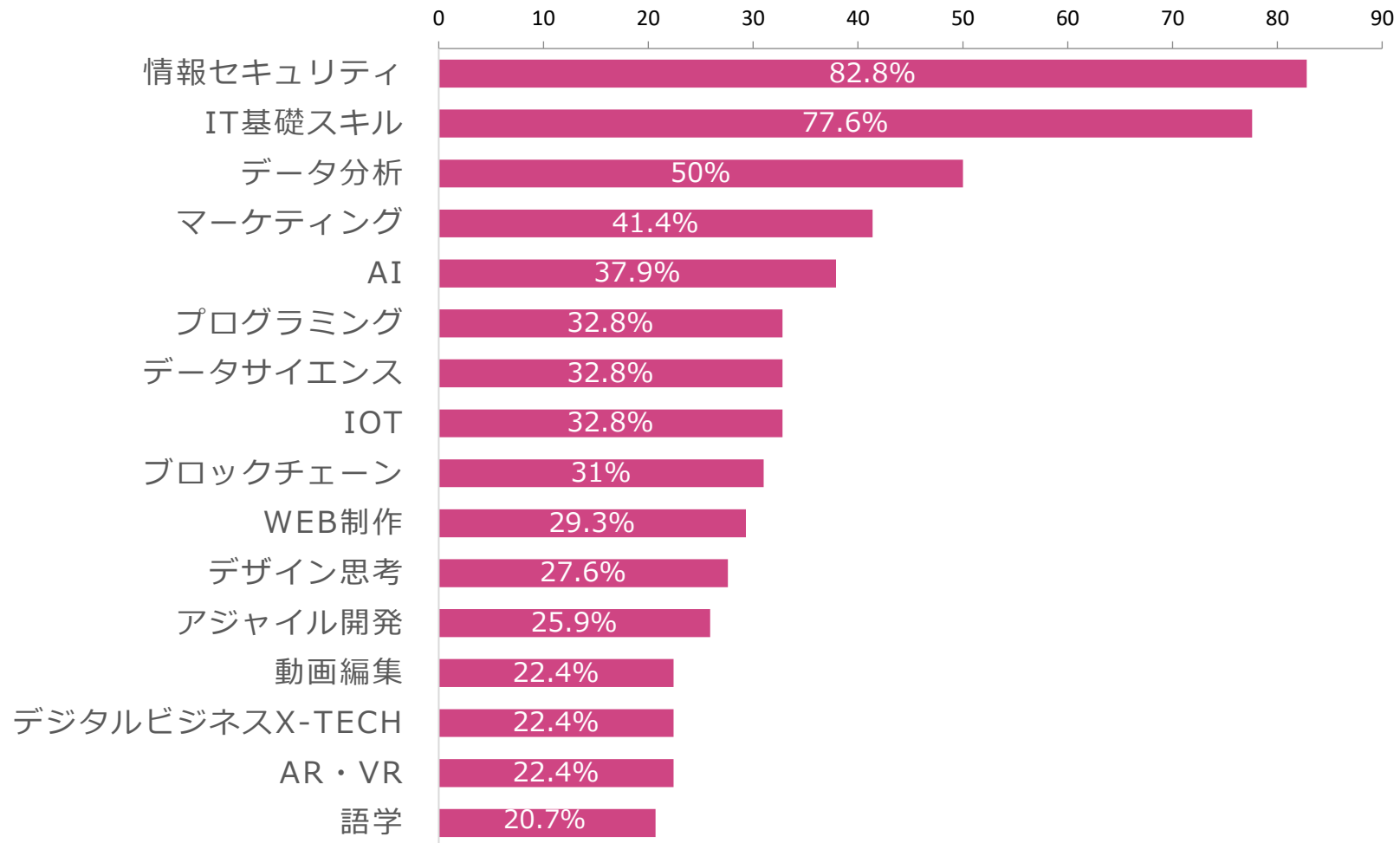
「全社員」を対象にしたリスクリングが主流。



Q: リスクリングの対象者は誰ですか? 当てはまるものをすべてお答えください。(n=58)

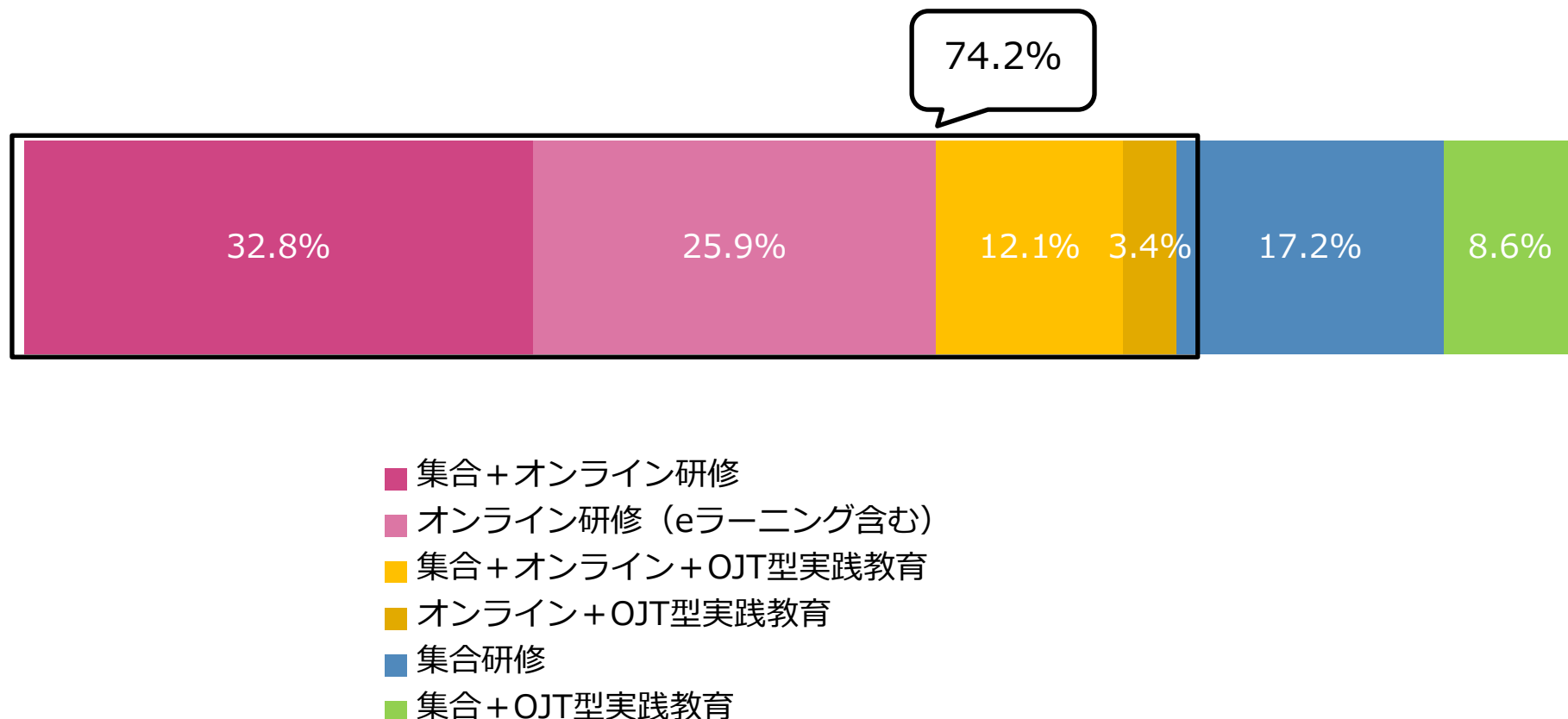
リスキリングの教育内容

リスキリングの教育内容トップ3は「情報セキュリティ」「IT基礎スキル」「データ分析」。
そのほか「マーケティング」「AI」「プログラミング」と多岐にわたる。



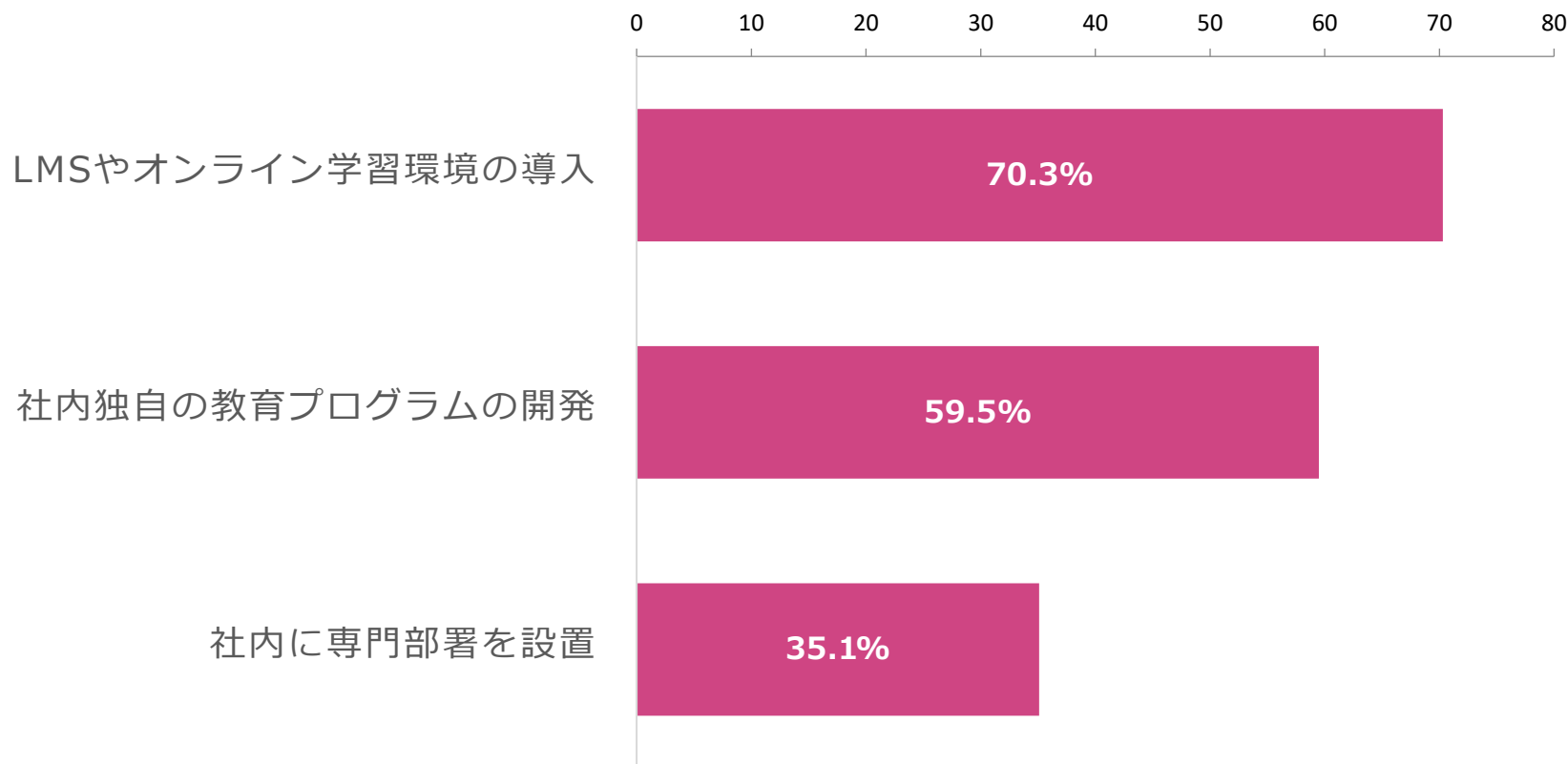
Q: リスキリングで提供している主な教育内容をすべてお答えください。(n=58)

オンライン（eラーニング）を活用してリスクリングを実施している企業が74.2%。



Q：あなたの企業ではリスクリングを主にどのような形で実施していますか？もっとも近い形態を1つお選びください。（n=58）

7割の企業がLMSやオンライン環境を導入している。



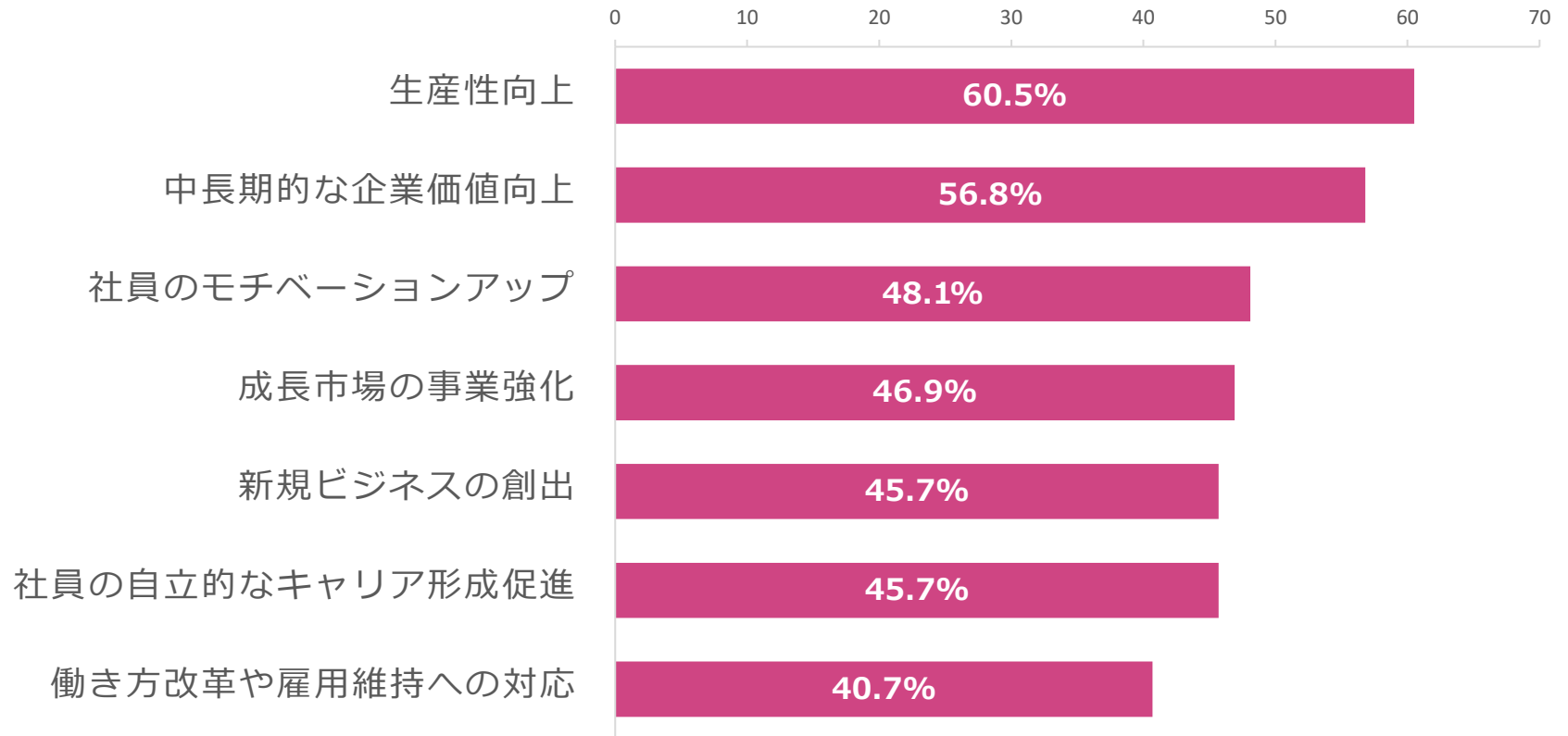
Q: リスクリング実施のために社内で準備した内容をすべてお選びください。(n=37)

アンケート調査結果

2. 企業がリスクリングを通して 目指すもの

リスクリングで達成したい目標

企業がリスクリングで目指すのは「生産性向上」。さらに、「中長期的な企業価値向上」「社員のモチベーションアップ」が成長事業強化や新規ビジネス創出などを抑えて上位に。

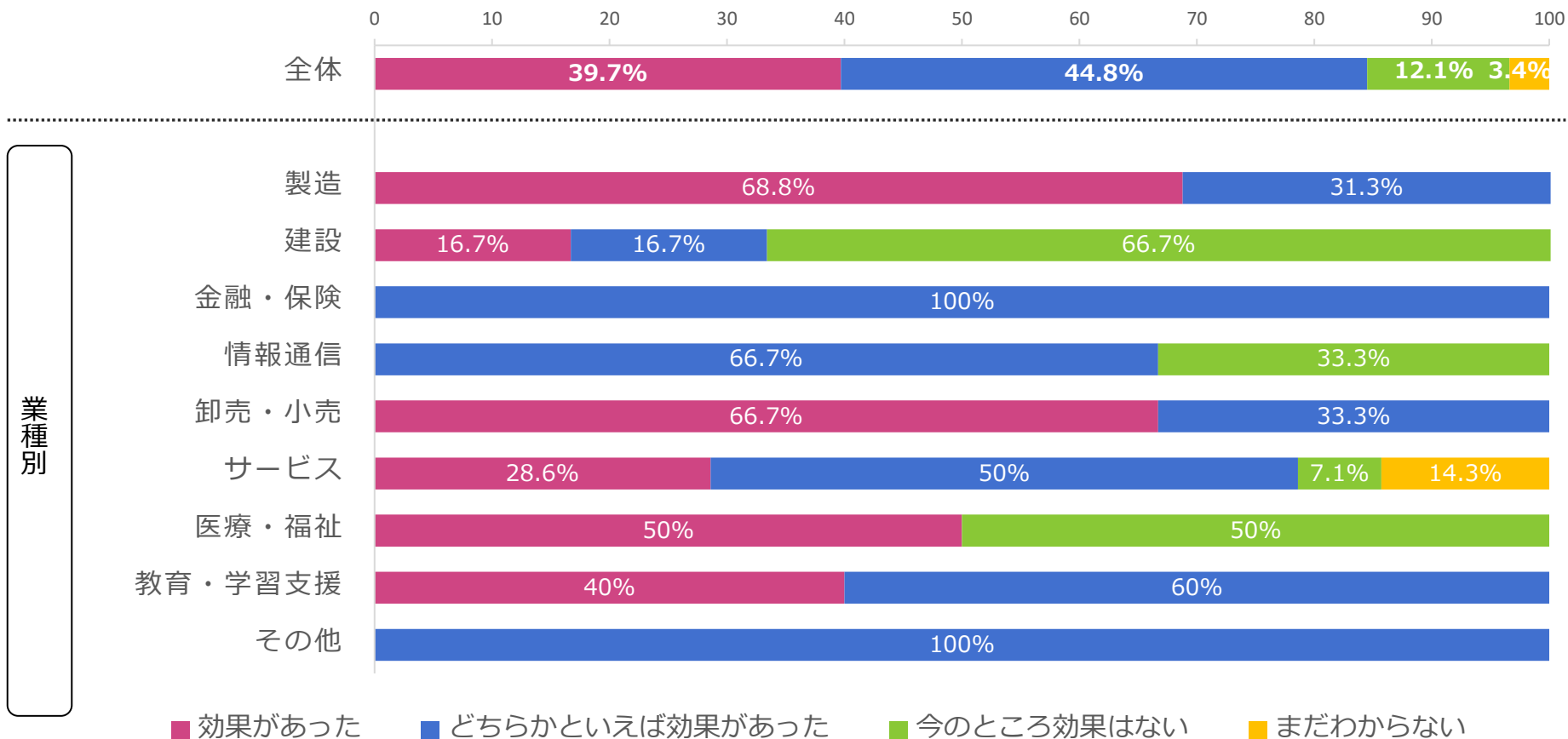


Q：リスクリングを通じて達成したい目標は何ですか？当てはまるものをすべてお答えください。（n=81）

アンケート調査結果

3. リスキリングによる効果

84.5%の企業が「リスキリングに効果があった」と回答。



Q：現時点でリスキリングの効果はありましたか？ (n=58)

リスキリングによる効果

おもな効果は「社員の意欲向上・意識改革」と「社員のスキルアップ」。それが業務効率化や生産性向上、働き方改革にもつながっている。P.16の目標を概ね達成できていると言える。

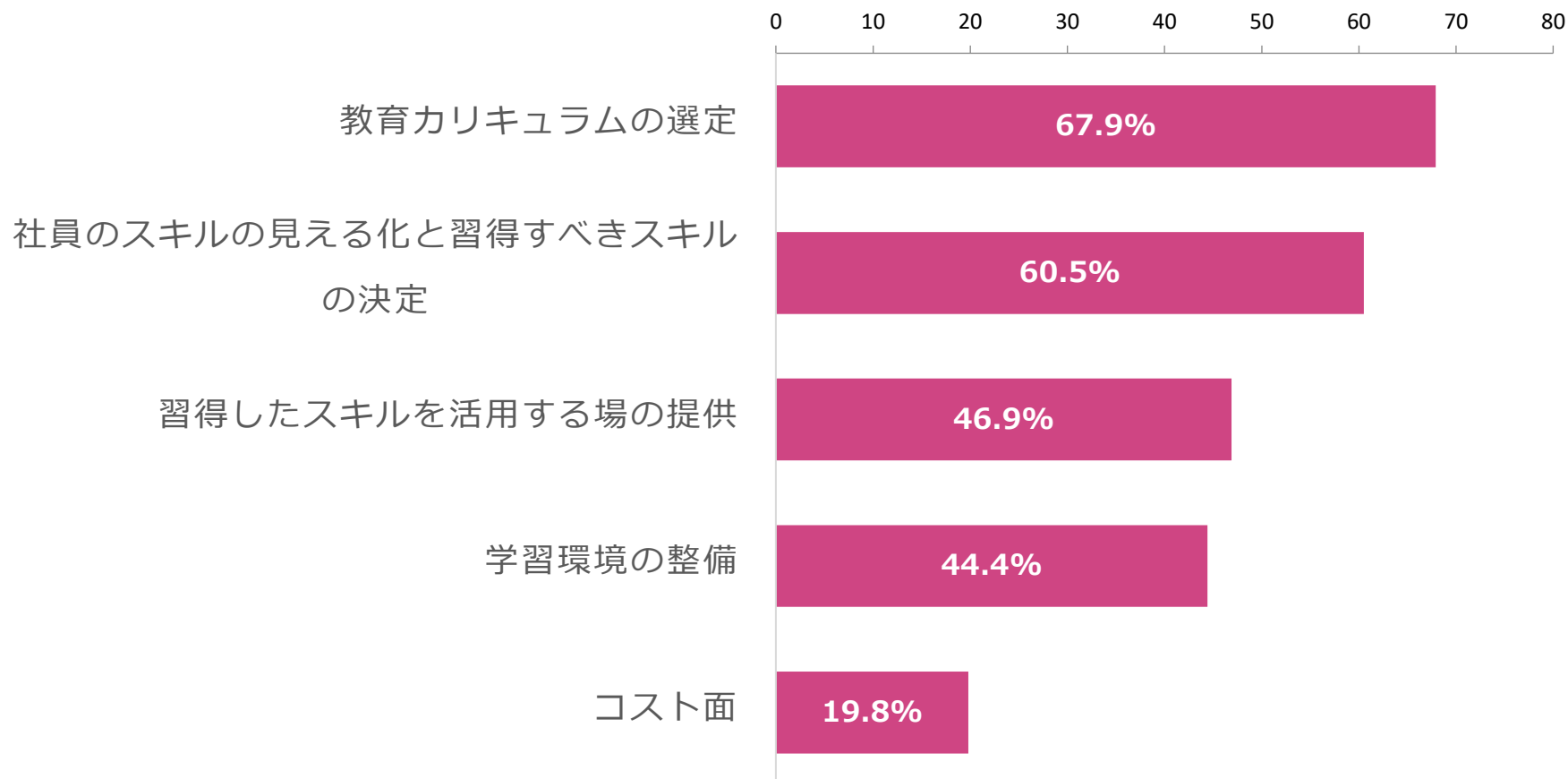
<p>47%</p> <p>社員の意欲向上・意識改革</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社員のモチベーションが上がった（金融・保険） ・社の雰囲気良くなった（医療・福祉） ・意識改革の効果があつた（卸売・小売） ・社員の中でキャリアデザインを考える機会が増えた（卸売・小売） ・職員のモチベーションの向上、仕事の効率化及び働き方改革の推進に効果を実感できている（教育・学習支援） ・社員の意識が上がり業務の生産性が向上した（製造）
<p>26%</p> <p>社員のスキル向上・DX人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社員のスキルアップにつながった（製造） ・能力向上に大きく寄与している（サービス） ・資格試験に合格（製造） ・DX人材拡大（製造） ・スペシャリストが増えた（製造） ・基礎的なウェブマーケティングスキルやプログラミングスキル、ビジネスコミュニケーションスキルが向上した（サービス）
<p>11%</p> <p>生産性向上働き方改革</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合力が強化されて仕事が円滑化している（サービス） ・日頃から知識を活用するようになった（教育・学習支援） ・業務効率アップやモチベーションの向上、新規開発など（製造） ・働き方改革につながった（卸売・小売）

Q：リスキリングにどんな効果がありましたか？(n=58)

アンケート調査結果

4. リスキリングの課題と今後の取り組み

リスキリングを実施する上で「教育カリキュラムの選定」「既存スキルに見える化と習得スキルの決定」「習得したスキルを活用する環境作り」が大きな壁となっている。



Q：リスキリングを実施する上で大変だったこと／リスキリング導入に向けて懸念される課題は何ですか？ (n=81)

すでにリスキングを実施している企業が挙げる課題は「コスト」「リスキング時間の捻出」「効果の定量化」など。引き続き取り組みを深化させ、より効果的なリスキングの在り方が模索されている。

- ・今後も積極的に取り組んでいきたい（医療・福祉）
- ・継続的な実施試験を行います（サービス）
- ・デジタルトランスフォームを推進したい（医療・福祉）
- ・人材育成や人材教育に力を入れ企業の競争力を上げていく（建設）
- ・今後も全社員を対象としたリスキング施策が推進されていく模様（サービス）
- ・より一層の顧客サービスの向上及び生産性向上（製造）
- ・外部の研修を増やしていきたい（製造）
- ・時代に合った取り組みを行うこと（情報通信）

-
- ・コストの問題（金融・保険）
 - ・コスト的に高い（教育・学習支援）
 - ・費用面を工夫する（製造）
 - ・費用対効果（教育・学習支援）
 - ・育成状況の定量化（情報通信）
 - ・社員のモチベーションの維持管理（卸売・小売）
 - ・実際の仕事以外でリスキングに使う時間がとれない懸念（サービス）
 - ・希望者が少なくなってきたのでもっと多くの人達に参加してもらいたい（金融・保険）
 - ・どれが一番効率的なのかきめること（卸売・小売）
 - ・どの段階でリスキングするのか、対象をどうするのか（卸売・小売）
 - ・研修会の資料の内容選定や準備の時間、研修会開催の時間の確保などが課題。今後はより実践的な内容の選定や研修会を生かしたスキルの実践の見える化に取り組んでいきたい（教育・学習支援）

Q：リスキングや人材育成に関する課題や今後の取り組み予定をお聞かせください。（n=58）

リスクリング未実施の企業では必要性は感じているものの、
予算や人的リソースの観点から環境整備や研修プログラムを設定する余裕がない様子が見えてくる。

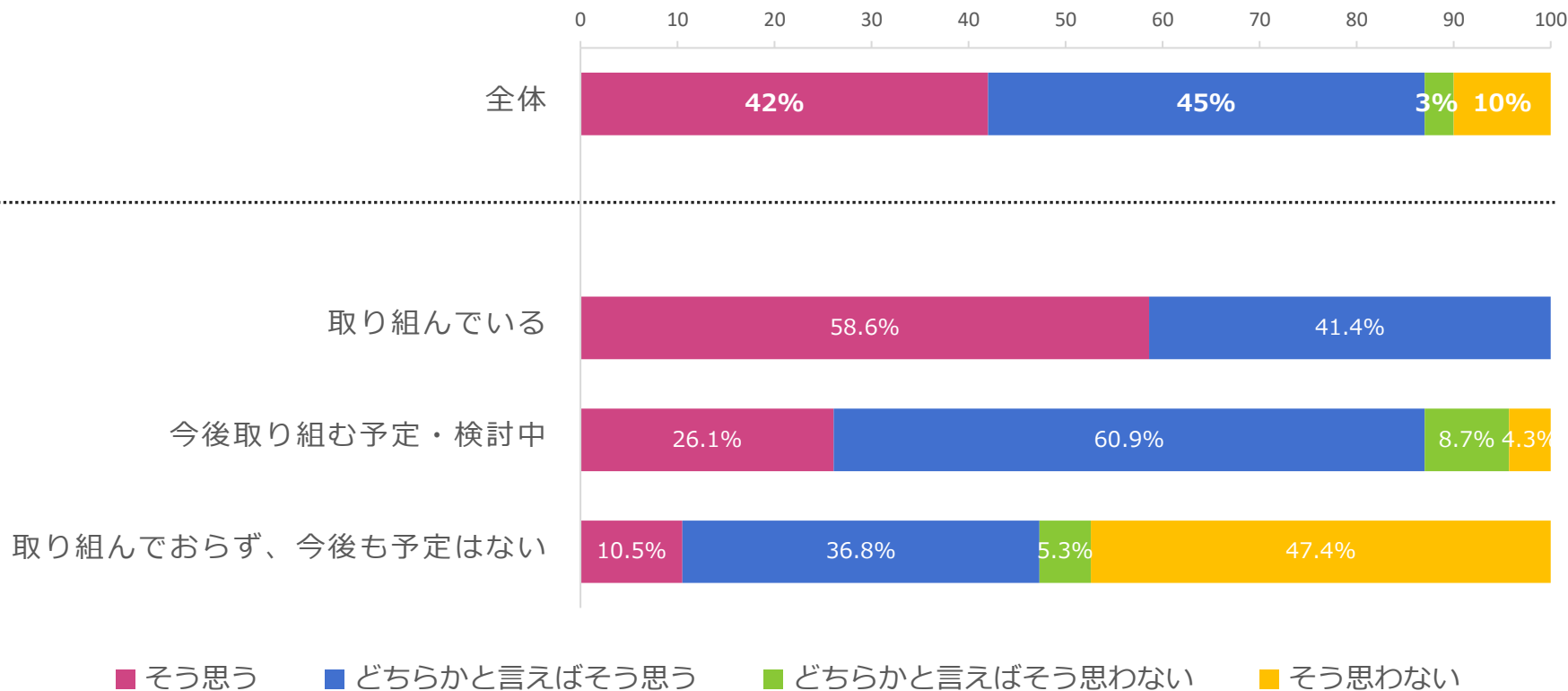
- ・DX関連の人材が不足していることでの育成は急務だと思っている（金融・保険）
- ・さしあたっては中堅社員と新入社員のスキルアップの底上げとDX関連の人材育成（金融・保険）
- ・リスクマネジメントに関するプロジェクトや委員会を作って取り組みを進めている（教育・学習支援）
- ・今後必要となりそう（その他）
- ・リスクリングを行いたいけど設定する余裕が無い（製造）
- ・女性が多い社員構成なのでライフマネージメントを総合的に考えて取り組む必要がある（製造）
- ・幹部育成（卸売・小売）

-
- ・育成プログラムの策定が困難（教育・学習支援）
 - ・研修制度（情報通信）
 - ・人員のやりくりで最大の力を払う工夫が必要となる（建設）
 - ・担当者の能力不足（サービス）
 - ・従業員の理解を得ること（金融・保険）
 - ・研修を行ってもアウトプットに繋げる仕組みやIT基盤がない（製造）
 - ・予算が足りない（医療・福祉）
 - ・費用がかかる、費用対効果がどれほどか分からない（金融・保険）
 - ・コストに見合うものであるか（製造）
 - ・まだ検討中（サービス）
 - ・未定です（金融・保険）
 - ・よくわからない（サービス）
 - ・わからない（製造）

Q：リスクリングや人材育成に関する課題や今後の取り組み予定をお聞かせください。（n=42）

87%の企業が「リスクリングは必要」と回答。
 リスクリングを導入する予定がない企業でも半数近くが「必要」と答えている。

リスクリングの取組状況別



Q：企業にとってリスクリングに取り組むことは経営上必要ですか？ (n=100)

大企業におけるリスクリングに関する調査報告書

デジタル・ナレッジ 調査

検索

2023年3月発行

発行：株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute
株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>